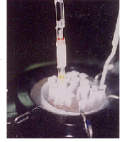


# マウス胚・精子バンク



現在、熊本大学生命資源研究・支援センター動物資源開発研究部門（CARD）では、たくさんの皆様からご寄託戴いたマウスの胚・精子の凍結保存を行っており、その系統数も約1,000を超えようとしています。また、それらマウスのデータベースを逐次構築し、CARDのホームページに記載しています

（CARD R-BASE:<http://cardb.cc.kumamoto-u.ac.jp/transgenic/>）。

さらに、供給件数もCARD R-BASEが完成してから、うなぎのぼりに上昇しています。CARDは、我が国を代表するマウスの胚・精子バンクとして着々と発展し、円滑な寄託供給体制を確立しつつあります。今後とも、多数の皆様からたくさんのマウスをご寄託頂き、また、供給に関しても大いにご利用頂ければ幸いです。

熊本大学生命資源研究・支援センター長

問い合わせ先：〒860-0811 熊本市本荘2-2-1  
熊本大学生命資源研究・支援センター 動物資源開発研究部門（CARD）  
胚凍結保存事務部 中瀧直己  
TEL：096-373-6575 FAX：096-373-6570  
Email：card@kumamoto-u.ac.jp  
<http://card.medic.kumamoto-u.ac.jp/>

## 保存経費無料

・保存経費はCARDが負担します



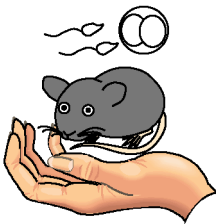
## 徹底した品質管理

- ・産子への発生チェック
- ・病原微生物チェック
- ・PCRによる導入遺伝子のチェック



## 供給業務の支援

- ・寄託者に代わって分与供給業務を行います
- ・研究者が煩雑な供給業務を行う必要がなくなります



## 世界的ネットワーク

世界の主要な胚バンク

- ・Jackson研究所
- ・MRC
- ・EMMA
- ・GSF

とデータベースを共有化します



## 供給制限も可能

原則として寄託頂いたマウスは、第三者へ無条件で供給可能なものに限りますが、条件を付けることもできます。

- 例
- 共同研究に限る
  - 研究目的により制限する
  - 樹立者の承諾を得る
  - 一定期間は分与不可とする など
- その他、個別にご相談いたします。

